学校番号	3003

令和８年度　教養科

教科	（学） 教養	科目	（学）基礎講座	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	クラウド型学習教材「すらら」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では，入学してきた生徒の「学び直し（recurrent）」をする。それによって生徒に自信をもって学校生活を送ることができるようにさせる(empowerment)。

クラウド型学習システム「すらら」を使用し，ひとりひとりに合った学習体験を行う。この学習体験を通じて，生徒たちに「社会人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を身につけさせたいと考えている。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
学びなおしの過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を理解するようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
学びなおしの過程を通じて，より深い問題点を見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
学習に主体的・協働的に取り組むとともに，自らの強みを生かしながら，自己肯定感を高め，よりよい人生を送ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学と英語において，中学校までの既習内容における積み残しを解消する。	個々の弱点を明確にし，問題を解くための手立てを考え，計画的に学習するよう工夫する。	毎時間の振り返りシートを入力し，次時の学習計画を立てて，復習ユニットを消化していく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学・英語	学力診断テスト 中学校までの既習内容	a:中学校までの既習内容を復習する。 b:つまずきを理解し，応用力へつなげられるようにする。基本的な表現力を身につける。 c:問題を解くために必要な知識の修得に取り組み，計画通りに学習できるようにする。	確認テスト 中間テスト 期末テスト	確認テスト 目標設定 中間テスト 目標設定 期末テスト	学習の進捗状況 課題に対する態度
2学期		学力診断テスト 中学校までの既習内容	a:一学期に克服できなかった分野を復習する。 b:既習済みの内容を復習することにより，思考力と表現力を身につける。 c:問題を解くために必要な知識の修得に取り組むようにする。	確認テスト 中間テスト 期末テスト	確認テスト 目標設定 中間テスト 目標設定 期末テスト	学習の進捗管理 課題に対する態度
3学期		学力診断テスト 中学校までの既習内容	a:前学期までに克服できなかった分野を復習する。 b:既習済みの内容を復習することにより，思考力と表現力を身につける。 c:問題を解くために必要な知識の修得に取り組むようにする。	確認テスト 中間テスト 期末テスト	確認テスト 目標設定 中間テスト 目標設定 期末テスト	学習の進捗管理 課題に対する態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度